

令和6年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1	議席 番号	6	氏名	中 野 健太郎 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	市営住宅の空き住戸の活用を！			<p>国が発出した「公営住宅の地域対応活用について」により、全国で若年単身世帯、UIJターン者らに対する公営住宅ストックの弾力的な活用が進んでいる。</p> <p>富士宮市内を見ると居住者の高齢化、空き住戸の発生、地域活動の担い手不足など課題を抱えている市営住宅がある。ストックマネジメントの観点からも市営住宅の空き住戸の活用は有効と捉え、以下質問する。</p> <p>(1) 市営住宅の空き住戸の状況は。</p> <p>(2) 富士宮市営住宅条例で明記されている「社会福祉事業等への市営住宅の活用」の実績は。また活用の呼びかけはどのように展開してきたのか。</p> <p>(3) 地域のニーズに合わせて子育て支援や高齢者生活支援等の地域コミュニティー活動を行う団体に貸し付け、暮らしやすい地域づくりを進めることについて。</p> <p>(4) スタートアップ企業がチャレンジしやすいワークオフィス機能を導入することについて。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	登下校時に地震発生！児童生徒をどう守る！？			<p>能登半島地震は1月1日16時10分に発生した。これが平日であれば、児童生徒の下校時間帯に当てはまったことになる。また、実際に平成30年に発生した大阪府北部地震は登校時間中に発生しており、ブロック塀倒壊により小学生が死亡する痛ましい事故が起きた。</p> <p>富士宮市の小中学校では危機対応マニュアルを整備し各家庭に配布しているが、大人がいない状況下で突如として災害が起こった場合にこどもたちが「自分の命は自分で守る」という意識を高める必要があると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 市内全ての小中学校の危機対応マニュアルは、登下校時の地震発生を想定した内容を記しているか。</p> <p>(2) 日頃の防災訓練は登下校中の災害発生を想定した内容を取り入れているか。</p> <p>(3) 学校、家庭だけの取組とせず、日頃から見守り活動等を行う地域団体に協力を仰ぎ、防災教室や通学路の危険箇所の確認・点検の意味をこどもたち自身が自覚する教育が必要ではないか。</p> <p>(4) 東日本大震災の津波で犠牲になった宮城県石巻市立大川小学校の損害賠償訴訟では、事前防災の不備は行政の責任とする司法判断が下された。学校現場の防災責任が改めてクローズアップされる中で、さらに踏み込んだ防災教育が必要と考えるがどうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長